

福岡県の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

「福岡県中高年就職支援センター」を共同で運営し、主に中高年求職者を対象として、キャリアコンサルタントによる個別支援（県）と職業相談・職業紹介を行うハローワーク（国）による一体的支援等を実施

県

キャリアコンサルタント
による個別支援の実施等

① 事業内容

〈福岡県〉

- ・キャリアコンサルタントによる個別支援（出前相談含む）の実施
- ・個別求人開拓に向けたキャリアの棚卸し支援
- ・就職支援セミナー、中高年の就職が見込まれる分野の専門研修の開催

〈ハローワーク〉

- ・専用パソコンによる求人情報の提供、職業相談、職業紹介の実施
- ・個別求人開拓の実施
- ・「心の健康相談」の実施
- ・就職支援資格講座、合同面接会の開催

② 協定・事業計画

- ・福岡県知事と福岡労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を福岡県と福岡労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

③ 運営協議会

- ・福岡県、福岡労働局、ハローワーク福岡中央で構成される運営協議会を設置



国

職業紹介・職業相談の実施等

これまでの「ふるさとハローワーク」の機能を強化し、個別求人開拓や「心の健康相談」を実施

(1) 実施体制

県

- ・マネージャー、アドバイザー 各1名
 - ・キャリアコンサルタント 3名
 - ・事務員 1名
- 計6名

国

- ・就職支援ナビゲーター 2名
 - ・職業相談員 5名
- 計7名

※求人情報提供端末 11台、職員用端末 7台

(2) 事業目標と取組状況

	25年度事業目標	取組状況(26年3月末時点)
一般求職者(概ね40歳以上の中高年齢者)に対する支援	◇ 利用者 40,000人以上	◇ 計 37,395人
	24年度事業目標 ◇ 利用者 40,000人以上	24年度取組状況 ◇ 計 41,958人
	◇ 就職者 1,800人以上	◇ 計 1,806人
	24年度事業目標 ◇ 就職者 1,600人以上	24年度取組状況 ◇ 計 1,851人

一体的実施事業による就職成功例

女性：68歳 希望職種：一般事務

○ 来所に至った経緯など

夫婦で年金受給中だが、単身の子供への生活援助等が必要となり就職希望で来所。

① 抱える課題

- ・希望職種と年齢とのミスマッチ

② 支援内容・ポイント・経過

- ・事務職希望だが、年齢による応募不調が続く状態。年齢に応じた職種の提案をしても興味を示さず。
- ・事務職以外はできないという、本人の思い込みがカウンセリングを通じて緩和。事務職から軽作業への職種転換により採用に至る。

③ 結果

- ・社員食堂調理スタッフ（嘱託）採用
※支援期間 5か月

○ 就職支援ナビゲーターの所感

- ・就職意欲が高いため、一つ一つ納得できるように心掛けた相談が未経験職への応募につながった。

○ 本人のコメント

- ・高齢者でも積極的に採用する職種、業種の情報を知ることができて感謝している。

女性：41歳 希望職種：営業事務

○ 来所に至った経緯など

今まで正社員として3社勤務したが、最後は体調不良により退職。県コンサルタントの相談を希望し来所。

① 抱える課題

- ・正社員雇用、希望収入に対するこだわり

② 支援内容・ポイント・経過

- ・正社員の事務職へのこだわりから、20代の応募者と競合し、面接できる機会も2割程度。
- ・面接につながる事務職（正社員登用制、応募者の年代等を勘案）を提案し、応募の選択肢を広げる。
- ・県コンサルタントとHWで協力し、応募継続を支持（主に心的支援）。

③ 結果

- ・一般事務、正社員で採用
※支援期間 12か月

○ 就職支援ナビゲーターの所感

- ・積極的姿勢、礼儀正しい人柄のため、面接の機会があれば採用の可能性は高いと感じた。

○ 本人のコメント

- ・途中、体調不良もあったが、県コンサルタントとHW職員の皆さんが背中を支えてくれたおかげです。